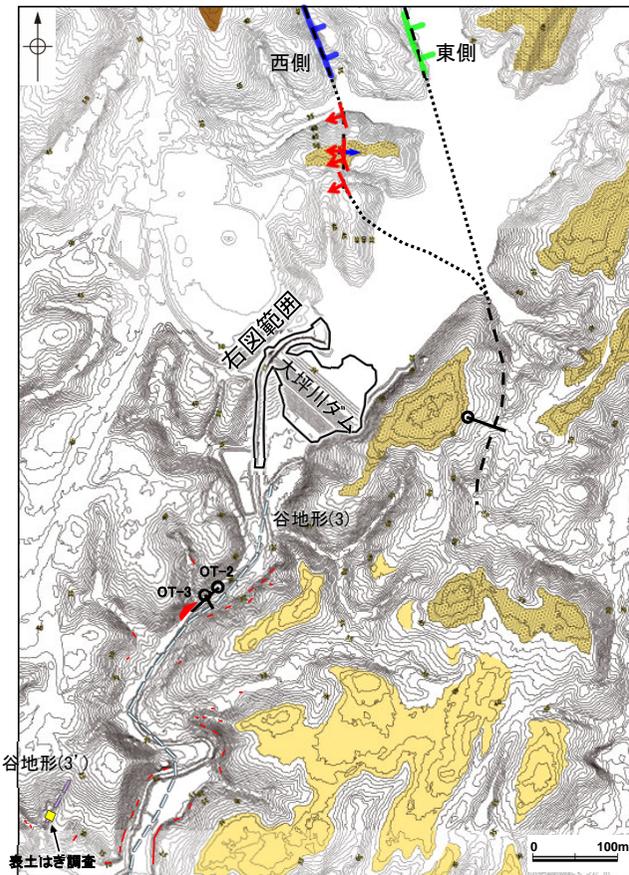
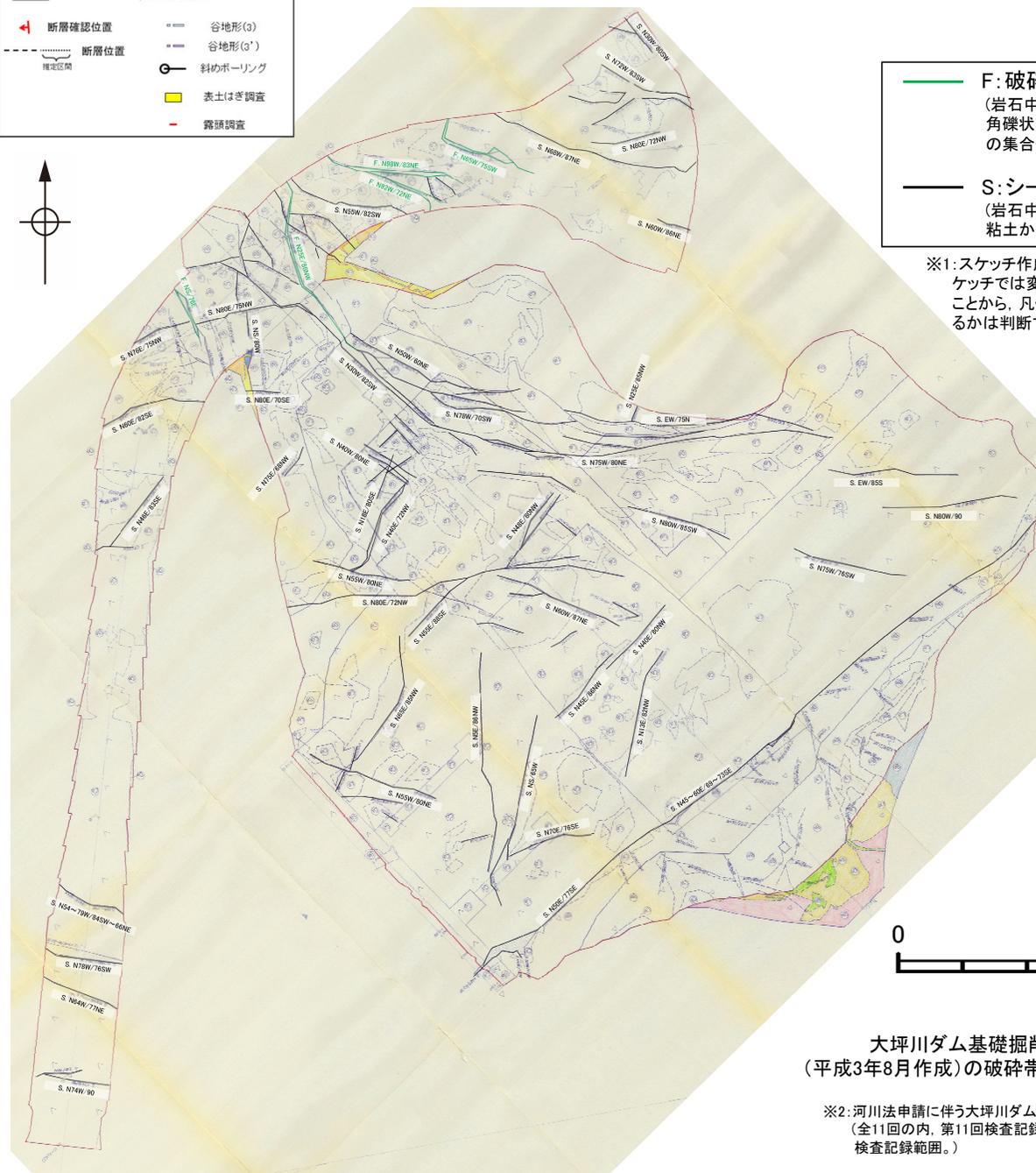
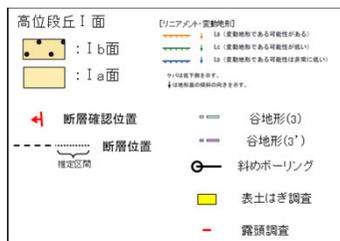


大坪川ダム基礎掘削面 地質観察結果



位置図



F: 破碎帯※1
 (岩石中において帯状の分布を示す角礫状~粘土状或不規則な割れ目の集合体)

S: シーム※1
 (岩石中において岩片混じり粘土や粘土からなる薄い軟弱層)

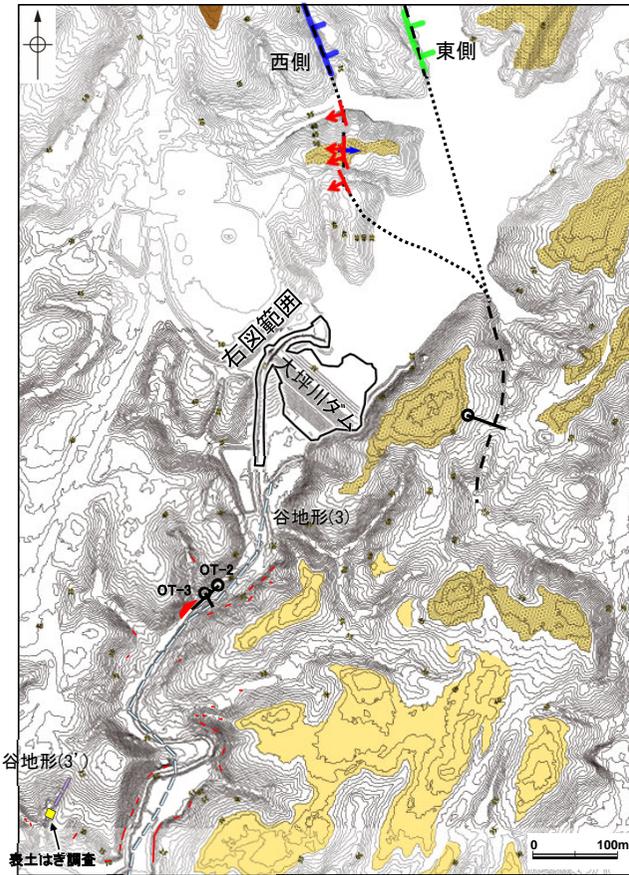
※1: スケッチ作成当時の定義に基づく。このスケッチでは変形構造の有無が確認できないことから、凡例の破碎帯とシームが断層であるかは判断できない。

凡 例	
今回検査面積 314 m ²	
— 今回検査範囲	— 既検査範囲
○ 段丘堆積物	□ 節理
▽ 安山岩	□ シーム
△ 凝灰角礫岩	□ 変質部
□ 地質境界線	□ 破碎帯
□ 岩盤境界線	

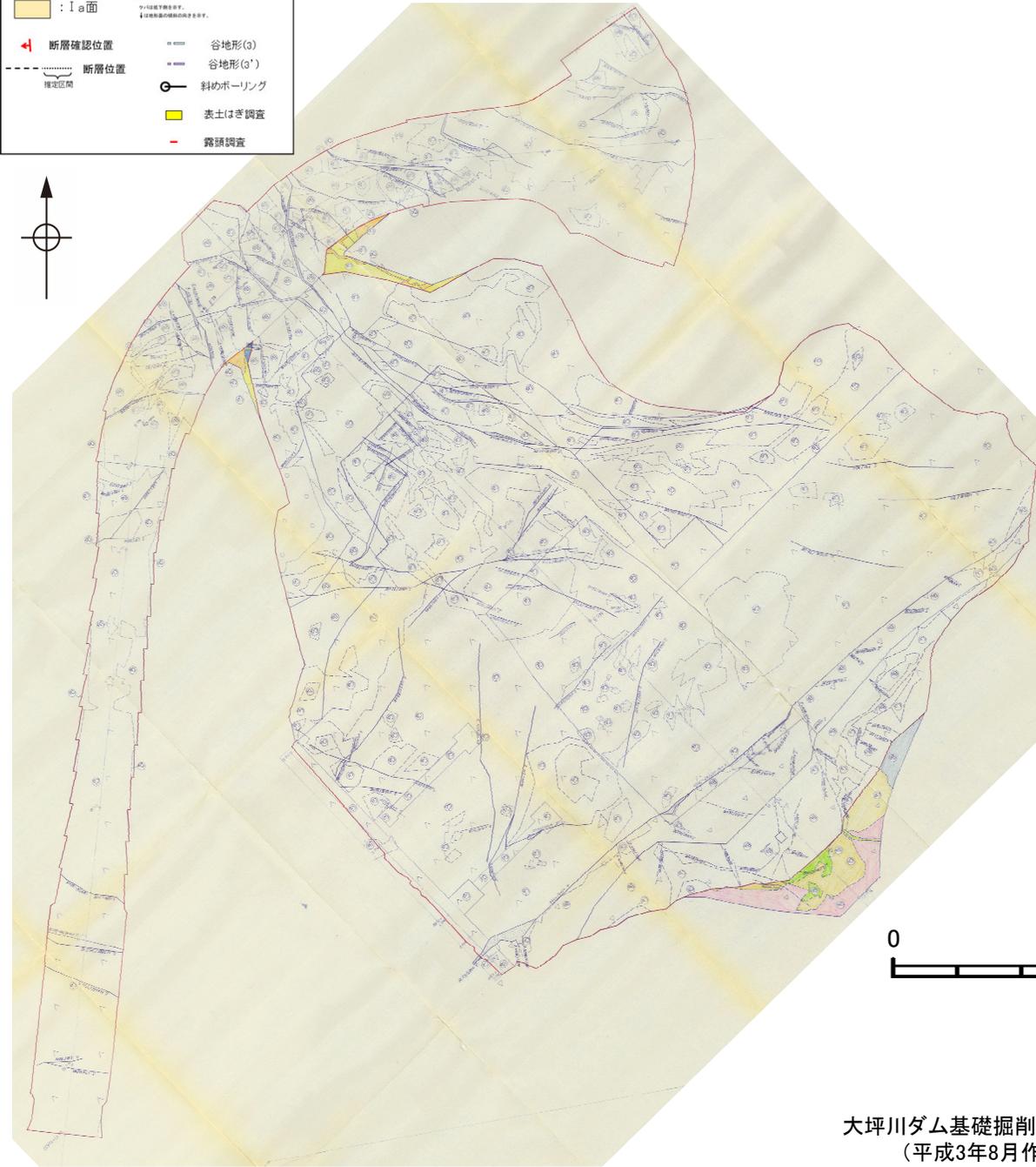
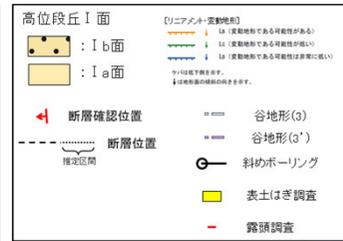
大坪川ダム基礎掘削面スケッチ※2
 (平成3年8月作成)の破碎帯及びシームをトレース

※2: 河川法申請に伴う大坪川ダム工事に係る地盤検査記録(全11回の内、第11回検査記録より抜粋。着色部は、第11回検査記録範囲。)

【大坪川ダム基礎掘削面 地質観察結果(原図)】



位置図



凡 例	
今回受検面積 314 m ²	
— 今回検査範囲	— 既検査範囲
○ 段丘堆積物	□ 節理
▽ 安山岩	□ シーム
△ 凝灰角礫岩	□ 変質部
□ 地質境界線	□ 破砕帯
□ 岩盤境界線	